

Mizuho Daily Market Report

2023/10/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.77	149.37	+0.06	+1.00
EUR	1.0607	1.0573	+0.0007	▲0.0080
AUD	0.6479	0.6435	+0.0008	▲0.0006
SGD	1.3618	1.3662	+0.0004	+0.0010
CNY	7.2983	7.2980	+0.0000	▲0.0010
MYR	4.6855	4.6953	▲0.0134	+0.0058
THB	36.47	36.41	▲0.34	+0.40
IDR	15461	15455	▲65	+80
PHP	56.57	56.59	▲0.38	▲0.20
INR	83.07	83.04	▲0.15	+0.10
VND	24321	24305	▲95	▲29

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.571%	▲0.4 bp	+13.7 bp
日本(10年)	0.765%	+0.4 bp	+1.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.839%	▲9.1 bp	+10.0 bp
オーストラリア(5年)	4.144%	▲1.2 bp	+6.8 bp
シンガポール(5年)	3.339%	▲4.8 bp	+2.7 bp
中国(5年)	2.525%	+0.0 bp	+0.4 bp
マレーシア(5年)	3.723%	+0.2 bp	+0.7 bp
タイ(5年)	2.890%	▲1.7 bp	+6.6 bp
インドネシア(5年)	6.568%	+5.5 bp	+16.2 bp
フィリピン(5年)	6.180%	▲5.1 bp	+5.2 bp
インド(5年)	7.228%	▲2.1 bp	+4.6 bp
ベトナム(5年)	1.950%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,507.50	▲0.5%	▲1.3%
N225(日本)	31,857.62	▲0.0%	▲1.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,174.66	+0.3%	▲0.8%
ASX(オーストラリア)	4,127.24	+0.2%	▲1.1%
FTSE(シンガポール)	3,217.41	+0.3%	+0.4%
SSEC(中国)	3,110.48	+0.0%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	65,828.41	+0.5%	▲0.3%
SETI(タイ)	6,939.89	+0.0%	▲1.1%
JKSE(インドネシア)	1,424.17	▲1.1%	▲1.8%
PSE(フィリピン)	6,321.24	▲1.0%	+2.9%
SENSEX(インド)	1,471.43	▲0.7%	▲3.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,154.15	+0.1%	▲3.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.53	▲0.9%	▲0.5%
金	1,848.63	▲0.9%	▲4.0%
原油(WTI)	90.79	▲1.0%	+0.8%
銅	8,212.50	+0.6%	+0.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.50	—	150.50
EUR/USD	1.0480	—	1.0580
AUD/USD	0.6330	—	0.6500
USD/SGD	1.3620	—	1.3700
USD/CNY	7.2900	—	7.3400
USD/INR	4.6890	—	4.7140
USD/THB	36.50	—	36.80
USD/IDR	15360	—	15400
USD/PHP	56.50	—	57.20
USD/VND	82.80	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台前半の水準でオープン。東京仲値にかけてはドル買い優勢の展開。東京時間午後には鈴木財務相から円安けん制があったものの影響は限定的。その後、日銀が臨時の国債買い入れオペを通知するとドル円は小幅に上昇。引けにかけては上値重く推移し、持ち高調整の売りもあってか149円台前半まで反落し海外時間へ。アジア通貨はまちまち。金曜日からは中国が連休入りし材料に欠ける中、全体的に小動きとなった。

海外時間のドル円は米金利低下や月末のポジション調整の売りも相まって148円台半ばで下落した後、徐々に値を戻し、149円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米8月PCEコアデフレーター(前月比)は予想を下回り、発表直後のドル円は148円台後半まで値を下げる。しかし直ぐに149円台前半まで戻す。続いて発表された米9月ミシガン大学消費者マインド(確報値)が上方修正された内容や米金利が上昇する展開を背景に、149円台半ばまで上昇。NY時間午後は週末を控え積極的な取引が手控えられる中、149円台半ばで揉み合い後、同水準を維持しクロス。

【金利】

米債市場はカープが幅にフル・スティープ化。米8月個人支出、PCEコアの前月比が市場予想を下回ったことをうけ金利は低下するも、市場の反応は一時的。その後は週末に米政府閉鎖回避のためのつなぎ予算合意の期待が高まる中、米金利は低下幅を縮小させた。

【予想】

本日のドル円は堅調推移を予想。米政府機関の閉鎖回避を受けてドル買いが優勢の地合いが続く。しかし150円台を前に為替介入の警戒感もあり、150円を超える急激な上昇は難しいだろう。また、海外時間にはハウル議長発言機会があるため、効派コメントが含まれているかどうか注目したい。

【本日の予定】

(日本) 3Q 日銀 短観
(日本) 9月 製造業PMI(確)
(日本) 日銀 主な意見
(アジア) 3Q シンガポール URA民間住宅価格(速)
(アジア) 9月 PMI製造業
(アジア) 9月 インドネシア CPI
(アジア) 9月 豪 PMI製造業(確)
(アジア) 9月 豪 コアロジック住宅価格
(アジア) 9月 豪 ムルボルンインスティテュート インフ
(欧州) 8月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 9月 ユーロ圏 製造業PMI(確)
(欧州) 9月 独 製造業PMI(確)
(欧州) 9月 英 製造業PMI(確)
(米国) 8月 建設支出
(米国) 9月 ISM製造業景況指数
(米国) 9月 製造業PMI(確)
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) ハウルFRB議長、ハーカー・フィデルフィア連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。